

札幌大学には様々な国からの教員がいます。そんな札幌大学の5人の外国人教員が「激動する教育」をキーワードに各国の教育事情を語る、札幌大学トークシリーズ第4回目の講演会を9月22日（土）14：00から札幌天神山国際ハウスで開催します。

第4回目の講師は本学女子短期大学部教授 **ウイリアム・グリーン**（イギリス）が担当します。大学教育は青年が社会人になるための訓練の場というだけではありません。より豊かな生活を送るための質の高い生涯教育を提供する場でもあるべきです。「継続教育」、「オープン大学」、「第3世代の大学」というイギリスの例を紹介します。講演は英語で行いますが、通訳がつきます。

第4回 9/22(土) 14:00～16:00

「英国 ライフロング ラーニング」—22歳で教育は終わらない！—

講師：**女子短期大学部教授 ウイリアム・グリーン（イギリス）**

第5回 10/20(土) 14:00～16:00 講師：外国語学部教授 **ウラジーミル・ジダーノフ**（ロシア）

会 場：札幌天神山国際ハウス（札幌市豊平区平岸2条17丁目）

申込み：札幌天神山国際ハウス 電話：011-823-1000 FAX：011-823-1867

Email：sgh@plaza-sapporo.or.jp

：札幌大学共同研究プロジェクト 遠藤昌子研究室 電話/FAX 011-852-9359

Email：endom@sapporo-u.ac.jp

参加料：無料

主催：札幌圏大学国際交流フォーラム、札幌大学、財団法人札幌国際プラザ 後援：札幌市教育委員会

札幌天神山国際ハウスは平成18年5月に「札幌天神山国際ハウスのあり方検討委員会」が設置され、施設の有効活用策及び用途変更の検討がされております。札幌大学共同研究プロジェクトでは国際交流都市機能発揮の場としての札幌天神山国際ハウスのこれまでの運営理念、実践を整理し、さらに国際交流都市ならではの市民層の厚さの育成という視点から国際交流都市にふさわしいソフト面の課題を札幌市に提示する試みを行っています。

今回、札幌大学トークシリーズでは、大学の知的財産を最大限に活用し、大学と地域社会、市民の方々との結びつきを、大学から外に出て働きかけていきます。国際交流を草の根で支える市民に、知的関心に答える場、交流の機会を提供する事も大学の使命と考えます。

【札幌大学共同研究プロジェクト】

平成18年4月に経済学部教授 網島不二雄をプロジェクトリーダーとして「道都機能としての札幌市—その歴史、現状、課題—」をメインテーマにスタートしました。本学教員約40人が学部の枠を超えて参加しており、それぞれ専門分野の異なる教員が集まり、歴史関係、文化・社会関係、道都機能・道州制関係の3つの班に分かれて研究を行います。研究期間は2年で成果は印刷物、シンポジウムの開催で公開します。